

北海道余市紅志高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)地域の農業生産を反映した新教育課程を編成、運用した農業学習、実習に取り組みます。	「地域園芸」科目では札幌心療福祉専門学校連携のもと「農作業手順書」を作成し、実際に町内養護学校生を対象に手順書を活用した農業実習を実施できた。	生徒数減少とスタッフの減少に対応した計画が必要。	A
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1)世界へむけた地域の農業学習発信に取り組みます。	農業学習発信は学校公式HPやSNSでの発信程度でほとんど未実施。	国際理解系列との連携強化を図り、いつ、どのように発信するかを具体化させる。	C
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地域農業理解推進に取り組みます。	「地域果樹」では夢の森ワイナリー連携学習としてワインブドウ栽培から醸造取り組み、製品化を達成。	継続した取り組みを実現させるために販路確立と販売手法改善が必要。酒類販売免許取得を検討。	A
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)農業科、商業科の特性を活かした生産ビジネス系列を新たに設置し、6次産業化に取り組みます。	農商合同科目「地域ビジネス」を設置し、販売会運営手法改善やラベルデザイン等商品開発に活用。また「農福連携」も福祉科とバリアフリー農園の課題探究に取り組んだ。	販売手法の継続的な改善。農福連携の継続の進め方。	A
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)地域環境保全へむけた学習に取り組みます。	独立行政法人北海道総合機構中央水産試験場に地域環境学習を実施。	環境学習を踏まえた環境負荷を軽減した持続型農業の実施。	A
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)地域の特産果樹を活用した商品開発に取り組みます。	ワイン絞りかす酵母や果樹の自家製酵母を活用したパン開発開始できた。	商品化へむけて科目横断的に販売計画作成に取り組む	B
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)ICTを活用した生産データ、販売データを集約し、新たな価値創造していくための土台づくりに取り組みます。	タブレットとアプリを活用し、商品販売のPOS化を実現できた。	データ集積の継続と活用。	B
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)津波防災に重点的に取り組み、非常時の防災、減災に取り組みます。	ハザードマップ確認と避難場所や経路の周知を行った。	生徒への周知徹底。	B